



みんなまの子

令和8年5月21日(木)

南島原市立南有馬小学校

校長 大草 修三

予行練習 がんばりました!



20日(水)、さわやかな青空のもと、運動会の予行練習を行いました。始める前から、私は「今日の予行練習バッチリ!」と予想することができました。なぜかという、みんなまの子122名全員出席、しかも一人の見学者もなし! ありがたいです。この快挙は、学校のみならず、ご家庭で子どもさんの食事や睡眠など、体の健康を支えていただいていること、また、子どもさんが疲れているときに、励ましの声をかけていただいたり、頑張っている様子をほめていただいたりして、心の健康を支えてくださっていること、このようなご家庭の支えがあってこそこの全員出席、全員参加の予行練習です。本当にありがとうございました。

私の期待どおりの予行練習でした。子どもたちは、一所懸命走り、踊り、力と合わせて競技を行い、心を一つにして応援を行いました。また、4・5・6年生は、係の仕事頑張りました。1・2・3年生は、大きな声でしっかり応援しました。教職員も



勤務時間前から運動場に出て、ラインを引いたり、テントを立てたり、子どもたちと一緒に係の準備をしたりしました。みんなまの子ども122名とみんなまの教職員21名が一つになってつくり上げた予行練習でした。



さらに感心したのは、5校時の授業です。午前中、あれだけ頑張ったので、午後は疲れて授業にならないのでは…と心配していたのですが、しっかりと気持ちを切り替えて、国語や算数の学習に集中して取り組んでいました。切り替えがきちんとできる、このことは自律できていることの証拠です。

さあ、いよいよ本番。24日(日)の運動会では、「**がんばった先のトロフィーをめざし最高に楽しい運動会をみんなでつくろう**」のスローガンのもと、一人一人がキラキラ輝くみんなまの子どもたちの姿をご覧ください。

保護者の方へのお願い



運動会開催日である24日は、南島原市の市民一斉清掃の日でもあります。運動会と重なったために、保護者の方の市民一斉清掃への参加が難しくなっており、申し訳ございません。子どもたちには、各ご家庭で、自宅近くの草取りや空き缶拾いなどを土曜日や振替休日となる月曜日などにさせていただき、何らかの形で地域の一員として環境美化に貢献させていただければ幸いです。

野菜の苗を 植えました



19日(火)の5校時、地域学校協働本部のご協力を得て、2年生が生活科の学習として、体育館裏



の畑に野菜の苗を植えました。今回植えた野菜の苗は、オクラ、ナス、えだまめ、スイカでした。子どもたちは、地域学校協働本部の川口さん、金子さん、婦人会の江島さん、宮崎さん、藤原さんのご指導のもと、苗を大事そうに植えていました。植え終わった後、水やりまで教えていただきました。

地域の方に学ぶ子どもたちの姿を見て、



改めて南有馬のみなさんの温かさを実感しました。本当にありがとうございました。

人権の花「ひまわり」



19日(火)に、3年生が人権の花「ひまわり」を学級園に植えました。ひまわりが人権の花と言われるのは、太陽に向かって真っすぐ力強く育つ姿が、子どもたちの心身の成長と重なるためとか、ヒマワリの「あなたはすばらしい」という花言葉が、人権の理念と合致するためと言われてい



ます。今年度は、南有馬小学校が南島原市内の小学校で人権の花を育てる担当になりました。3年生ががんばって育てます。夏にはたくさんのひまわりが咲き誇ると思います。

ほっとタイム

私的なことですが、実は先週、私は病院で体のメンテナンスのため検査を受けたのですが、そこから、まさかの体調不良に陥ってしまい、数日間学校を休んでしまいました。我ながら情けなかったです。

しかし、この入院中にたくさんのことに気づかされました。3点紹介します。

まず、主治医の先生の力強い言葉が何よりの薬であったということ。主治医の先生が、力強く「大丈夫ですよ!」と行ってくださることで、心配が薄らぐのです。「大丈夫」という言葉は、心の処方箋なのですね。

2点目は、看護師さんの言葉かけです。入院されている方の中には、ほぼ寝たきりでコミュニケーションが難しいご高齢の方がいらっしゃいます。看護師さんは、たとえ返事が返ってこなくても「おはようございます〇〇さん。お熱測りますよ。」とか、点滴の時に「痛かったですね。もう大丈夫ですよ。」など、どんな人に対してもその人の人格を尊重した言葉かけをされていました。

最後3点目は、家族の支えです。仕事が忙しい中、妻が何度も自宅と病院を往復してくれました。感謝の気持ちでいっぱいです。また、私の家には犬が1匹います。自宅で療養するために横になっていると、枕元に来て一緒に寝そべっていてくれました。愛犬から感じる温もりが、痛みを和らげてくれたのは間違いありません。

子どもたちへの教育(学校教育、家庭教育の別なく)においても、言葉の力、人格の尊重、無償の愛ですべてを受け入れてくれる人間関係(人犬関係?)はとても大切だと思います。特に、義務教育段階の子どもたちにとっては。